

石島会計メモ

平成29年3月号



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

相続方法には3つある

(文章 石島慎二郎)

遺産とされるもの

相続が発生したとき、残された人たち（相続人）は、亡くなった方（被相続人）の遺産（＝相続財産）を整理することになります。相続財産は、宝石や貴金属、土地や建物といった資産だけでなく、借金などのマイナスの財産も含まれます。この相続財産はどのように整理していくことになるのでしょうか。

基本は、まるまる相続

ひとつ目の方法は、被相続人が持っていた財産すべてを相続人が引き継ぐという方法です。単純にまるまる相続するというので、「**単純承認**」といいます。まるまるですから、プラスの財産だけでなく、マイナスの借金も引き継ぎます。ですから、被相続人がたくさん借金をしていたり、赤字垂れ流しの事業を行っていたりした場合には、相続人が何とかしなければならなくなります。単純に財産を引き受けますというのは危険なのです。

拒否してしまう方法

借金が多く相続財産がマイナスのときなどに、相続しませんと宣言してしまう方法があります。「**相続放棄**」という第2の選択肢です。

相続放棄すると、そもそも相続人ではないものとして扱われます。相続人ではないとされますので、借金を引き継ぐ必要はないですが、プラスの財産を引き継ぐこともなくなります。一切何も、引き継がないことになるのです。

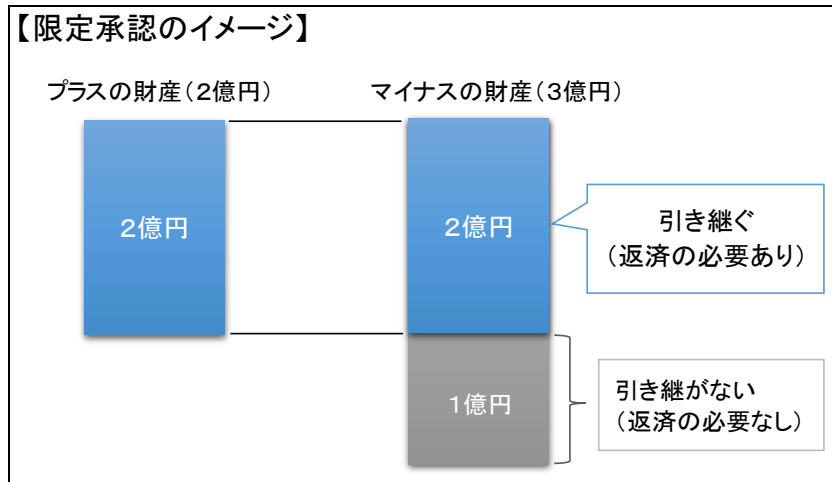
注意すべきは、相続放棄の選択期限です。相続人が、相続があったことを知った日から **3ヶ月（熟慮期間）** 以内に家庭裁判所に申し出ることでされています。

過ぎてしまうと「単純承認」とみなされ、資産も借金もまるまる相続することになってしまうので注意が必要なのです。



いいとこ取りの方法？

そして3つめの方法が、「限定承認」です。プラスの財産の範囲内であれば借金も引き受けますよ、という方法です。



相続放棄と同じく、限定承認も熟慮期間の3ヶ月以内を選択しなければなりません。引き継ぎたい資産があるけれどもしかしたら多額の借金があるかもしれない、そんなときに限定承認を選択しておけば安心ということです。

でも実際は・・・

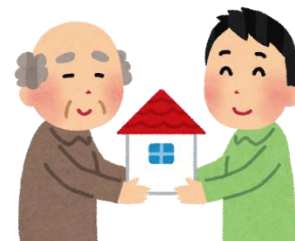
年間、相続放棄が20万件近くあるのに対し、限定承認は800件程度しかありません。年間の被相続人数（死亡者数）約130万人に対してこの数ですから、限定承認はほとんど使われていないのです。

なぜなら、手続きが大変なのです。限定承認を選択するには、熟慮期間3ヶ月の間に財産を整理し、相続人全員で裁判所に申し出なければなりません。お金の貸し主（債権者）に対して申し出してもらう必要もあります。さらに、所得税が出てくる可能性までもあるので、熟慮期間の延長が可能とはいえ、とにかく煩雑であることから敬遠されることが多いようです。

ただでさえ大変な時期なのに

誰かが亡くなりつらい時期に、短期間で相続方法を決めなければならないというのは大変なことです。

遺産を残す側としては、財産、借金を整理して遺言書を作成しておくなどの気遣いをしておくことが、もしかすると残される側にとっては貴重な遺産のひとつになるのかもしれませんが。



東京マラソン奮闘記

初めて救護所入りを体験

石島洋一



今年の東京マラソンに出場しました。5k、10k、15k…ここまでは順調でしたが、急に腹痛を起こしたうえに、中間点ぐらいで足がつり始めました。経験したことの無い「つ리카た」で重症。この先はもう無理かな、とあきらめ始めた矢先でした。目の前に「救護所」の看板があったのです。迷わず飛び込みました。

そこにいたのが美人の看護師でした。足のつ리카たの状況を話すと、「足のマッサージしますか？」

私はなんとという幸運に恵まれたのでしょうか。倍率12倍の抽選に当たったうえに、美人のマッサージ付きなのです。「お願いします！」。

しかし、「期待」とは裏切られるためにあるものです。実際にマッサ



ージをしてくれたのは、彼女ではなく、むくつけき男でした。しかも、マッサージをしてもらっている最中に、

「まだ、続けて走りますか？」という美人看護師の質問。

その響きは極めて事務的で冷たいものでした。美人は冷たい（私の周りには温かな心の人が多く幸福です??）。

彼女の言葉は「もう止めたら…」というように聞こえました。

私は反発しました。「歩いてでもゴールします」

「完走した」、とは言えませんが…

我ながら「歩いてでも…」と良く言い切ったと思います。救護所に入る前は、「もう無理かな」と思っていたのですから、大きな変化です。あの冷たい感じの言葉への反発が、自分の気持ちを強くしたのでしょうか。「よーし、歩くのではなく、走ってゴールしてやろうじゃないか」、私の目標が高くなりました。

しかし、気持ちを強くしても、身体はついてこないのです。再び足がつり始めました。でも、歩き続けることは出来ました。

まさに悪戦苦闘のマラソンでしたが、「石島先生、頑張っ！」という沿道のファン（不安？）の声や、身につけて走ったプレゼントの富岡八幡宮の「完走御守」に助けられて、なんとかゴールできました。

歩いている時間がほとんどで、合間に走るという「間走」ではありましたが、闘うことのすばらしさを楽しめた一日でした。

2017 東京マラソン報告

加藤美智子

初めてのプレミアムバスツアー

東京の街を颯爽と駆け抜ける,, ,はずでしたが

30 キロの関門を突破できず、予想通り (?) のリタイヤでした。

今回は奇跡が起きませんでした。

《敗因》

- ① 練習不足 前回も同じ程度の練習でも完走できたのですけど~
- ② 体力不足 ジムに通いましたが始めたのが遅かった?
- ③ 歳のせい (これはないですね。私より〇歳年上の所長は完走していますから)

東京バスツアー報告をするつもりでしたが、数寄屋橋にある 30 キロの関門から満員のバスに乗ると、ゴール地点の東京駅まであっという間。

写真を撮るつもりでしたが、呆然としている間に着いてしまいました。

ゴール地点に降ろされ、そこから預け荷物受け取り場所の日比谷公園まで、ゴールした人たちと一緒に歩きます。

悔しいやら悲しいやら...惨めな気持ちでトボトボ歩くのが辛かったです。

バスで隣に座っていた若者が友達に電話していました。

「東京マラソンなめてたわ~脚にきた。

練習して絶対リベンジするよ」

私も心の中で「同じ思いだわ!」と叫んでいました。

応援して下さった皆様、どうもありがとうございました。

完走めざしリベンジします!



↑

参加者の約 4%しか乗れないプレミアムなバス車内の希少画像